

(参考)岡崎市立東海中学校の野生生物保護活動概要

東海の自然を未来へ

～地域と協力して、絶滅危惧種を守る～

開校以来 50 年以上、学区の自然を見つめ、野鳥保護を中心に活動をしてきた。そして、平成 3 年、カワバタモロコの危機を目の前にし、様々な角度から、カワバタモロコを守ろうと、真剣に取り組み始めた。

①河川調査活動

学区に流れる山綱川の水質及び水生生物を調査。川の生態は、付近の環境変化に敏感に反応するため、調査を続けることで学区の環境変化を知ることができる。



②保護・繁殖活動

絶滅危惧種に指定されているカワバタモロコの繁殖・飼育。屋内の水槽でカワバタモロコを飼育・観察するとともに屋外に設置した水槽に雄雌を入れ、繁殖を行っている。水槽に入れたホテイアオイに卵を見つけ次第、卵専用の水槽に移し、繁殖や孵化を進めている。その後、が学区の池などに放流。



③ 広報・啓発活動

調査活動で気付いたことや学区の自然の様子を広報紙（校内・地域）の発行、各種発表会での報告、水槽での展示などにより全校生徒や地域の人に知らせる活動をしている。

